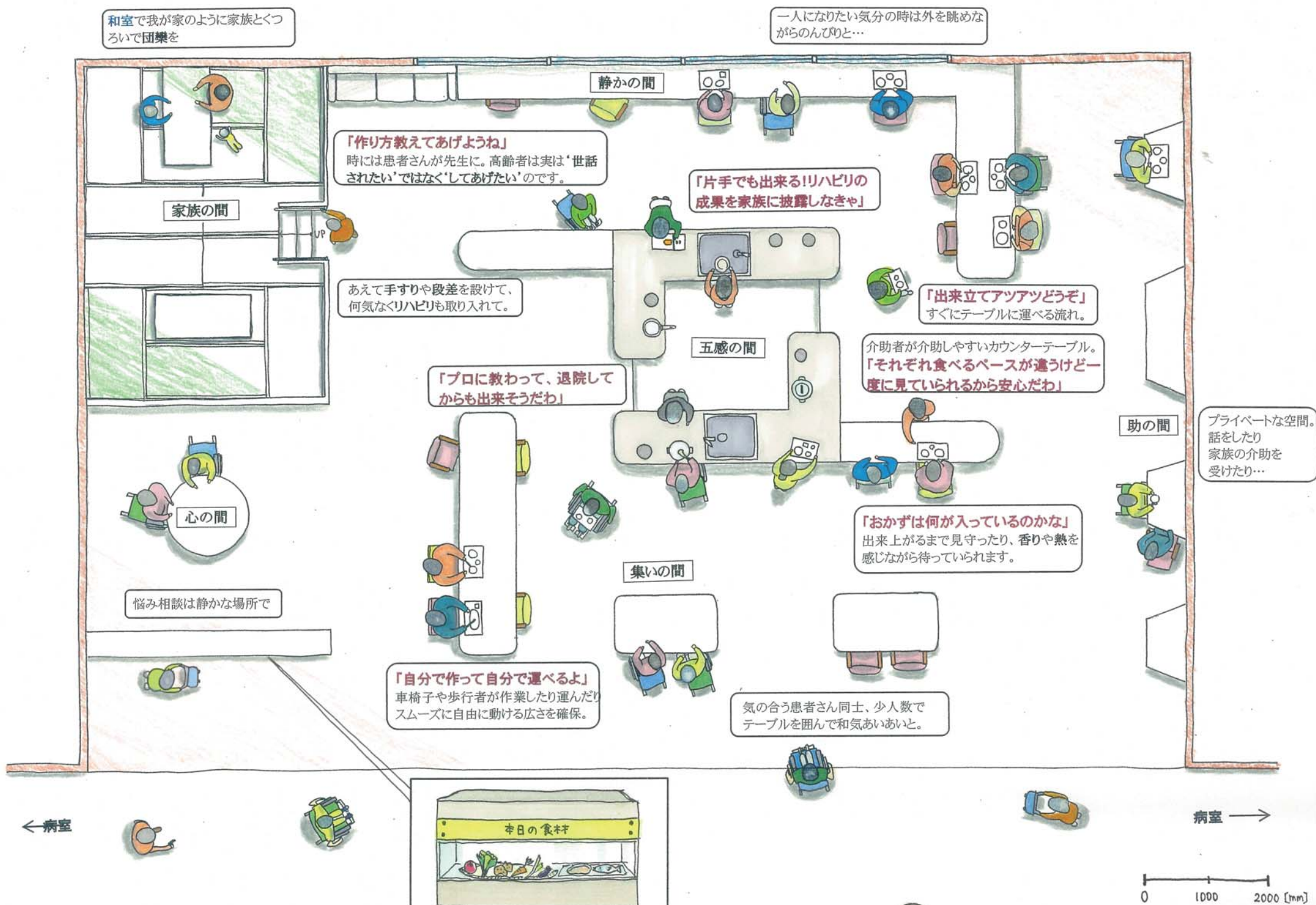
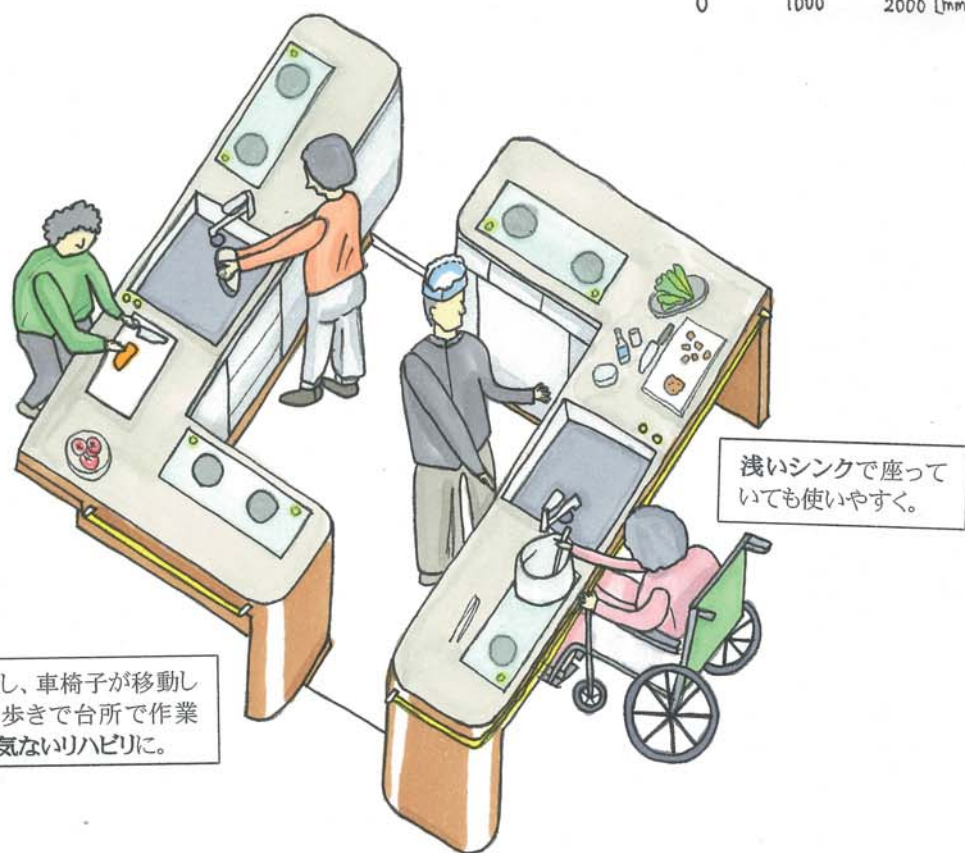




香 集 創 食 楽

～香りや音に誘われて～

・人に優しい空間・



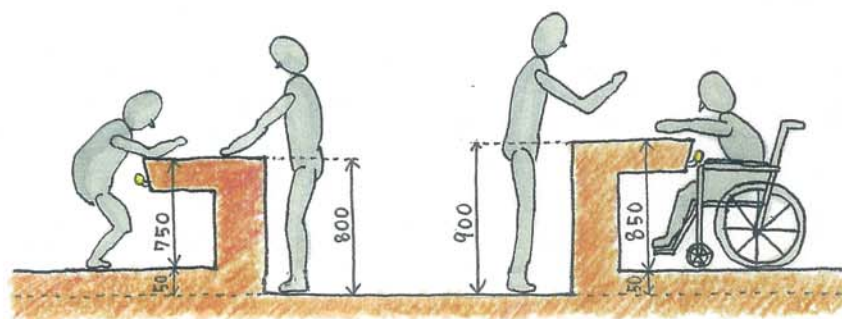
入院中の唯一の楽しみとも言える食事。

その食事といえば

厨房から一人ずつお盆に乗せられてワゴンで運ばれてくるものが主流。
人によっては、味気ないものだったり... 自分で口に運べなかったり...
原形が分からないペースト状のものしか食べられなかったり...
隣り合う人が、みんな食事を楽しめているとは限りません。

見た目や味で、食欲が失せてしまう事もある中、
誰もが自然に足が向くような、食事をするだけではない、
五感を刺激する「食」を提供する空間。

生活習慣の変化から脳梗塞などの重篤な疾患が若年化しつつある昨今。
“食べ物が無い時代”を生きてきた世代から、
“食べるものが溢れる時代”をきている世代へ。
リハビリ病棟にあるべき理想のキッチン空間とは...



高さの違う2つのカウンターを並べ、間の床を下げる事で4パターンの高さに。姿勢の違う様々な人が同時に作業が出来て、お互いの視線も近くに。

椅子でも車いすでも使いやすい広い足元のスペース。